

..... 編集後記

◆ スマトラ大地震の記憶がまだ消えない10月8日、今度はパキスタン北東部でM7.6の地震が発生。死者が6～7万人に達しているようです。1990年代に旧地質調査所が、パキスタン地質科学研究所設立のプロジェクトを実施したことから、パキスタンをよく知る研究者も多く、みな現地の状況を心配しています。地形・気候的に厳しいころ、雪が降る前に支援の手が届くと良いのですが、上記プロジェクトの成果の概要は本誌1998年5月号に特集記事として掲載されており、地震発生直後の基礎情報として広く利用され、また、この地震に関する情報が、地質調査総合センターから逐次公表され、国際的な注目を集めたようです。

◆ 今月の地質ニュースは「石灰石鉱山」・「石油枯渇」・「活断層研究の最前線」・「地質文献」・「つくば科学フェスティバル」・特集「地質情報展2005きょうと」(その2)という多彩な内容になりました。

◆ まず須藤氏が四国山中の日本最大の石灰石鉱山「鳥形山」での、石灰石の採掘から運搬・出荷までを紹介、表紙や口絵の写真にも日本とは思われない大規模な採掘に目を奪われます。

◆ 大久保氏は石油枯渇に関する会議の議論を紹介。温暖化対策や石油枯渇に対し、日本では車の燃費向上、ハイブリッド車の普及、代替資源の開発といった対策が急がれていますが、技術力・経済力の弱い多くの国々では原油の供給が減れば、即耐乏生活を強いられる、これが世界の常識であることを思い知らされます。

◆ 松浦・吉見氏は、4月の活断層研究センター第4回研究発表会の概要を報告。「断層の活動確立評

価」・「断層間相互作用と連動」・「スマトラ沖地震とインド洋の津波」などの7講演と討論の概要、ポスター発表のタイトルが紹介されました。活断層研究の最先端を概観していただけます。

◆ 菅原氏ほかの皆さんは地質文献DBの新機能と地質図ライブラリーの公開など最近の地質文献情報活動の近況を、井川氏ほかの皆さんは10月の「つくば科学フェスティバル2005参加報告」で、化石模型の作製を通じての普及活動を紹介されました。

◆ そして「特集：地質情報展2005きょうと 大地が語る5億年の時間Ⅱ」には、前号に掲載できなかった8つの報告を掲載いたしました。まず、高橋氏が「京都周辺の地史」のポスターを、山崎氏は古地磁気学の祖「松山基範」博士とその業績を、金田氏ほかの皆さんは京都周辺の活断層と地震を、また、辻野氏ほかの皆さんは京都府北方海域を例に海洋地質調査法について、佐脇・水垣氏は地熱と温泉について、金子氏は日本と周辺地域の石油・天然ガス資源について、報告・解説されました。また、体験コーナーでは吉田・有田氏の「砂変幻」、特設コーナーでは谷田部氏ほかの「移動地質標本館と地質なんでも相談」の様子が紹介されました。

◆ 訂正とお詫び：本誌10月号・目次3行目「京都地域の地質年代表・・・吉田朋弘」の「吉田朋弘」を「地質情報展事務局」に訂正します。また、本号・松浦・吉見氏の「第4回活断層研究センター研究発表会報告」は編集部の手違いにより掲載が遅れました。皆様にご迷惑をおかけしました。お詫び申し上げます。(須藤定久)

地質ニュース編集委員会

委員長：須藤定久

副委員長：吉田朋弘

委員：高木哲一・丸山 正・高橋裕平・

光畑裕司・七山 太

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754

Fax. 029-861-3746

地質ニュース	第615号	2005年	11月号
	定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費		
2005年11月1日	発行		
編集	産業技術総合研究所		
発行人	株式会社 実業公報社		
	代表者 林 光生		
発行所	株式会社 実業公報社		
	東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073		
	Tel.(03)3265-0951 Fax.(03)3265-0952		
	http://www.jitsugyo-koho.co.jp		
	E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp		
	振替口座 00110-6-32466		
	麹町局私書箱第21号		

地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

© 2005 Geological Survey of Japan
●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。